

「みんなの制服プロジェクト」だより

第3号
令和2年11月19日発行
一宮市教育委員会

みんなの想いを新制服に！

「みんなの制服プロジェクトシンポジウム」を開催 !!!

11月14日（土）に木曾川文化会館尾西信金ホールで「みんなの制服プロジェクトシンポジウム」を開催しました。

市内全19中学校の代表生徒・保護者・教員、さらには小学生や制服販売店の方々、合わせて200名近くの方にご参加いただき、「現行の制服から変わってほしいこと」や「新制服を考える上で大切にしてほしいこと」を中心に話し合いました。

シンポジウムの最後には、参加された方々の意見をプロジェクト委員会で集約した「市に対しての提案文」を内藤委員長が発表し、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

11月16日（月）には、中野一宮市長にシンポジウムの報告をし、教育委員会として、令和4年4月から新制服を導入することとしました。今後は、児童生徒アンケートを実施し、その結果をもとにプロジェクト委員会で新制服のサンプル作成を進めていきます。



全体協議では「生徒の想い」「保護者の想い」「教員の想い」の3つに分けて考えていきました。

生徒からは「動きやすい制服にしてほしい」「ズボン・スカートを自由に選べるようにしてほしい」「体温調整ができるようにしてほしい」「ブレザーが着たい」といった意見が多く発表されました。

保護者からは「メンテナンスの面として、アイロンがけの手間が減ってほしい」「着回しができるように移行期間がほしい」等の意見が、教員からは「現在の制服に対するストレスの部分をなくしてほしい」「市の統一性を残したまま、学校の独自性も出したい」等の意見が発表されました。



サポートメーカーによる「制服学習会」では、制服の歴史や全国の新制服導入の動きなど、たいへん興味深いお話をいただきました。



ロビーには現行の制服と新制服のサンプルとしてブレザー・スラックス・ポロシャツや尾州産の生地などを展示しました。

★ 市への提案文★

次のような「想い」を形にした新制服を令和4年4月より導入できるように作成を進めることを提案する。

<生徒の想い>

- ・「積極的に着たい」と思えるデザインにしてほしい
自分の意志で迷うことなく選択でき、着ることができる制服
- ・制服の機能面をより充実させてほしい
動きやすくて着心地がよい、着脱しやすくて手入れが簡単、使い勝手のよい制服
- ・これまでの伝統を継承しつつ、一宮の学校らしさを示したい
一宮市民としての誇りをいつまでも持ち続けられるデザインの制服

<保護者の想い>

- ・子どもたちが安心して着ることができる制服にしてほしい
機能面、安全面、衛生面の配慮だけでなく心から充実した学校生活を送ることができる制服
- ・子どもたちのために保護者が管理しやすい制服にしてほしい
手入れが簡単で丈夫で長く着られる制服

<教員の想い>

- ・子どもたちとの対話を活発にする制服にしてほしい
子どもたちと教員、保護者、地域の人々との対話が生まれるきっかけとなる制服

